認定調査票（ＯＣＲ票）記載の手引き

参考資料　2

　　　　　令和7年6月

仙台市介護保険課

○　認定調査票様式は下記の４枚で一式です。

　　　概況調査

　　　基本調査

　　　特記事項（１枚目）

　　　特記事項（２枚目以降）

○　記入上の注意点

　　　用紙について・・認定調査票用紙はＯＣＲ票となっておりますので，折り曲げ厳禁です。

　　　　　　　　　　　また，機械で読み込みを行いますので，原本を使用してください。

筆記具・・・・・使用する筆記具は，ボールペン等の消えない筆記具を使用してください。鉛筆やこすると消えるペンなど，消すことができる筆記具は不可です。　　色は黒でお願いします。

　　　数字記入欄・・・文字と枠が接すると読み込みできません。

　　　　　　　　　　　読み取りやすい文字を記入してください。他の数字と間違えるような書き方はしないように注意してください。

　　　チェック欄・・・原則レ点を記入してください。レ点は枠と接してもかまいません。

　　　文字記入欄（特記事項等の四角い枠で囲まれているもの）

・・・記入欄内をイメージとして読み込みます。（記入欄内に記入した文字をそのまま画像として読み込みます。）

　　　必ず文字を記入欄の枠内に収めるようにしてください。

○　記入誤りの修正

　　　修正液・修正テープでの修正は不可です。

　　　数字は一度記入したものを×で消して書き直すことや二重線訂正は不可です（特記事項の項目番号は二重線訂正可）。チェック欄や文字記入欄は二重線訂正でかまいません。

規定の用紙に特記事項の記述部分のみ印字する，特記事項入力用エクセルシートをご用意しております。特記事項入力用エクセルシートのデータは仙台市ホームページへ掲載しておりますので、ご希望の事業者様は、適宜ダウンロードのうえ、ご使用ください。

≪掲載先≫

*ホーム＞手続き案内・電子申請・申請書ダウンロード＞申請書・届出書様式のダウンロードサービス＞*

*高齢の方＞介護保険＞介護保険　認定調査票(特記事項)エクセルシート*

なお，印字ずれなどにより読み取りができない場合には，再度作成していただく場合もありますのでご了承ください。詳しい記載方法については，２枚目以降をご覧ください。

また，認定調査票記入の基本的な留意事項等は，「認定調査員テキスト２００９改訂版」を参考にしてください。

**１．概況調査**

市町村コード：保険者番号を記入します。

仙台市青葉区　：０４１０１

仙台市宮城野区：０４１０２

仙台市若林区　：０４１０３

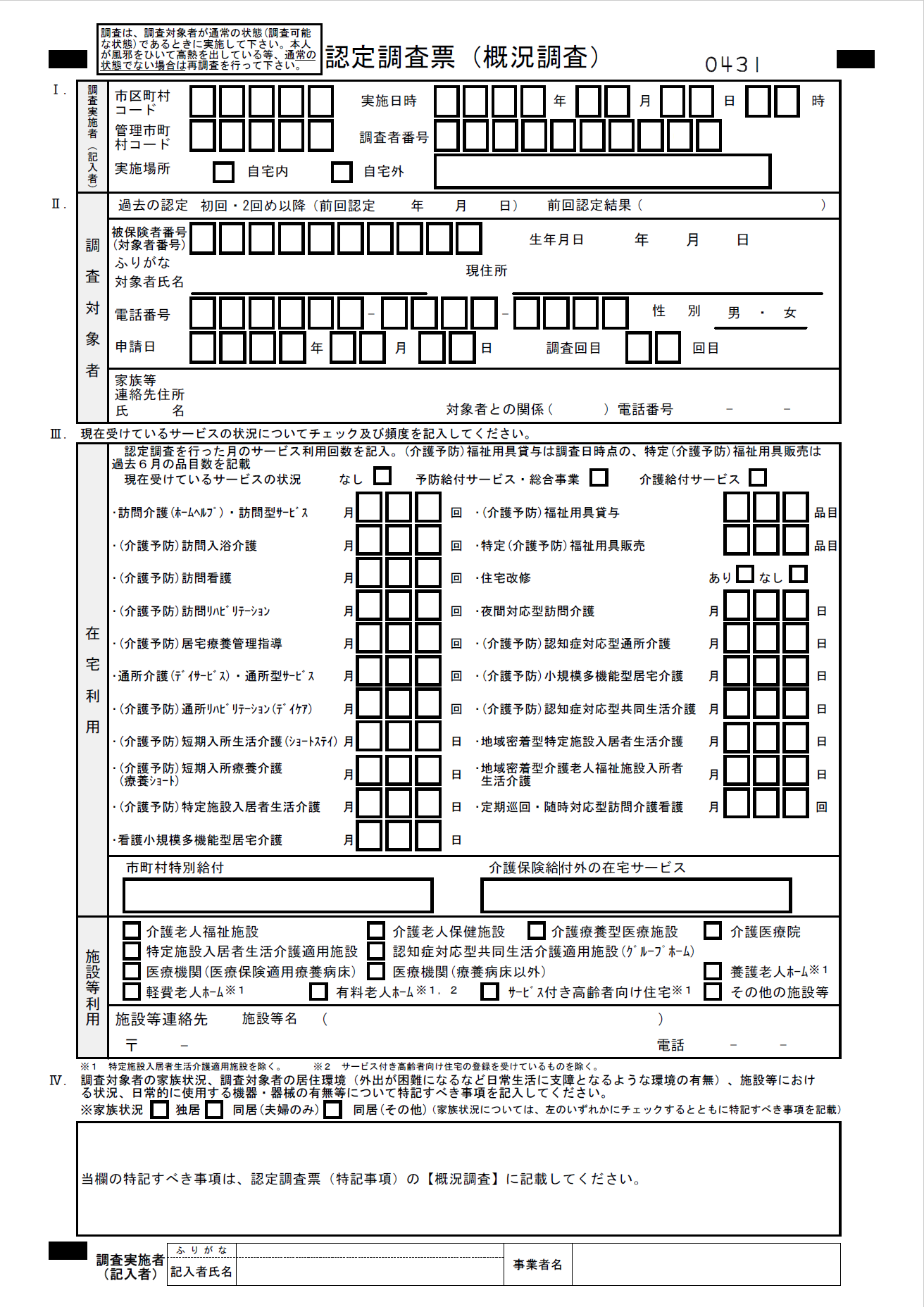
仙台市太白区　：０４１０４

仙台市泉区　　：０４１０５

実施日時：調査実施日を記入します。

西暦・月・日を記入してください。

時間は００～２４までの数字。９時３０分開始の場合，「０９」と記入します。



サービスの利用回数は一桁から三桁の数字を右づめで記入します。一桁または二桁の場合には，頭に０を入れて「００１」「０１０」等と記入します。

実施場所の区分：

グループホーム・ケアハウスの調査の場合は原則「自宅外」にチェックします。但し，住所を施設においている場合は「自宅内」にチェックします。

生年月日：

元号と年月日を記入してください。

被保険者番号（対象者番号）：

右づめで記入します。

頭の「０」は省略不可です。

調査回目：

「０１」と記入してください。

再調査の場合のみ「０２」～の数字を記入します。

現在受けているサービスの状況：

介護度に応じて予防給付・総合事業・介護給付のいずれかにチェックします。

申請日：

依頼書に記載されている要介護認定申請日を記入してください。

年は西暦で記入します。

「自宅外」の場合に記入

**２．基本調査**

施設等利用：

　施設等の利用がある場合は※1及び※2を確認の上、該当項目にチェックし、施設等名の欄を記入します。居宅サービスを利用している場合は、サービスの状況を記載します。

調査実施者

記入者氏名：調査を行った調査員の氏名とふりがなを記入してください。

事業者名　：事業者名を記入してください。

特記すべき事項：

認定調査票特記事項（１枚目）の【概況調査】に記入し，この欄には記入しないでください。

電話番号：記入不要です。

市町村コード：保険者番号を記入します。

仙台市青葉区　：０４１０１

仙台市宮城野区：０４１０２

仙台市若林区　：０４１０３

仙台市太白区　：０４１０４

仙台市泉区　　：０４１０５

調査日：

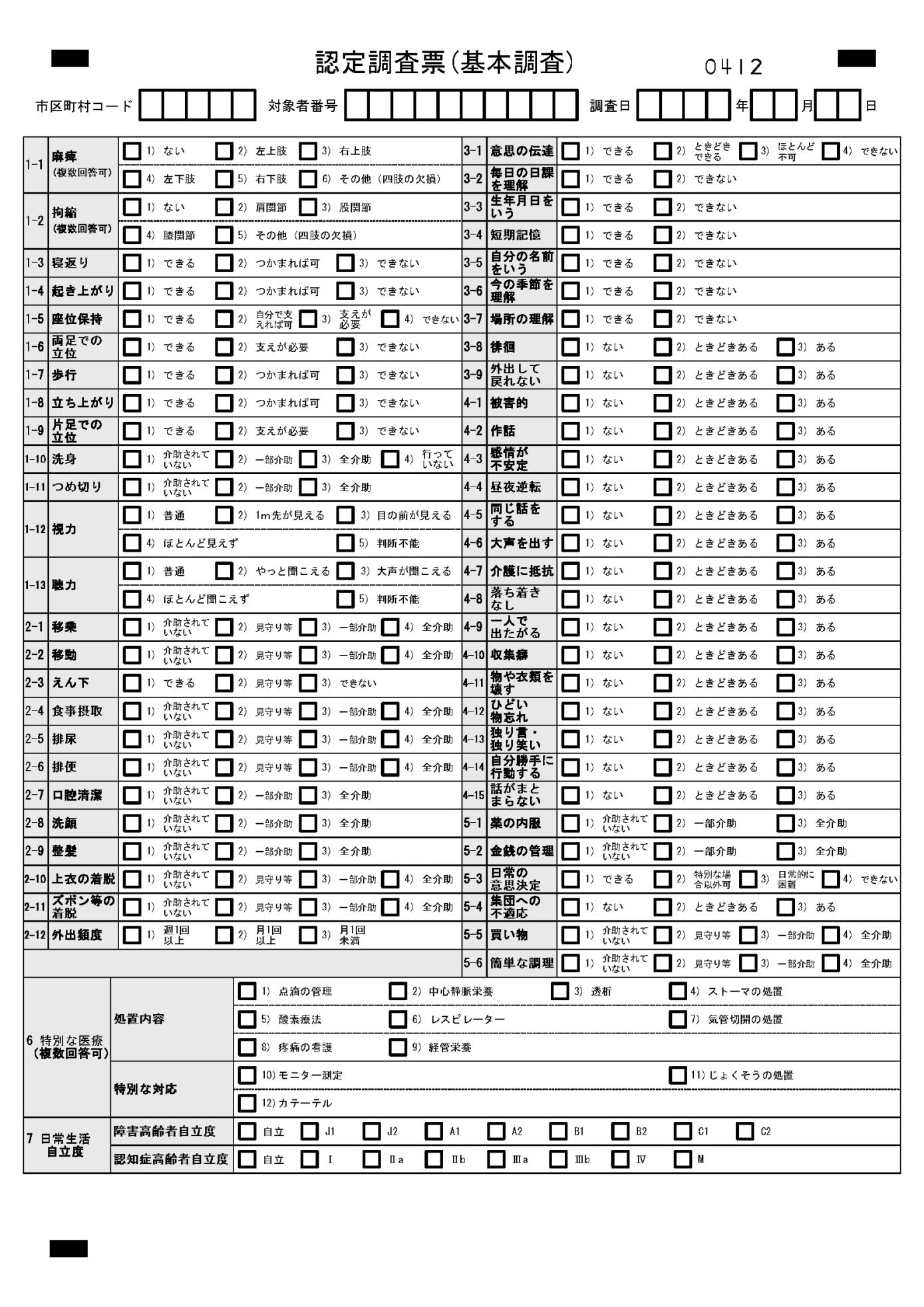
調査実施日の西暦・月・日を

記入してください。

対象者番号：

被保険者番号を右づめで記入します。

頭の「０」は省略不可です。



調査項目のチェック欄：

　チェックボックス（□）にレ点を記入します。

　間違った場合には，二重線訂正してください。

３．特記事項

* 様式は必ず１枚目（上部に概況調査Ⅳ特記すべき事項欄がある様式）から記入してください。１枚目の用紙で足りなくなった場合は２枚目以降の様式（特記事項の記述欄のみの様式）に記入してください。
* １群から順番に記入し，項目の番号は必ず記入してください。（特記事項の記入内容をそのままイメージ画像として読み取り，介護認定審査会の資料として使用されます。）
* 同一群の同一項目番号は，ページをまたいで記入しないでください。

※１行に２行分を記入することはしないようにお願いいたします。



調査項目：

該当する項目の番号を記入します。

　間違った場合には，二重線訂正してください。ただし，文字は必ず枠内に収まるように記入してください。

介護の手間（量）：

仙台市の独自項目です。

本人もしくは介護者に確認のうえ，記入してください。

**特記事項１枚目**

特記事項（文字記入欄）：

　間違った場合には，二重線訂正してください。ただし，文字は必ず枠内に収まるように記入してください。

小規模多機能居宅介護，看護小規模多機能型居宅介護を利用している場合は，サービス名と回数も記入します。

文字は極端に丁寧でなくてかまいませんが，以下の点に気をつけてください。



**見方によっては**

**“１”にも見える**

**枠線の上部に**

**接してしまっている**

**枠線の左側に**

**接してしまっている**

**２・０・１・８ともにＯＫ！**

\\Fukpc047\【新】介護保険課共有フォルダ\02_介護保険係\03_受給\05_照会／回答／通知／依頼\05_制度改正\H30年度制度改正\1_マニュアル等改正\調査票関係\20180322140645.tif

**大きすぎて**

**枠線に文字が接している**

**\\Fukpc047\【新】介護保険課共有フォルダ\02_介護保険係\03_受給\05_照会／回答／通知／依頼\05_制度改正\H30年度制度改正\1_マニュアル等改正\調査票関係\20180322134838.tif**

****

**レ点チェックはアバウトでＯＫ！**

**この例では　1）ない　は未記入と認識しますが、**

**それ以外はすべて読み取りできます。**

数字サンプル

**特記事項の記載例**

**【Ⅰ．読み取りにおいて望ましい事例　】**

① 基本の記載例

|  |  |
| --- | --- |
| **２** – **２** | 自宅内では，トイレや食堂まで介助者が車いすを押して移動している為「4．全介助」を選択。 |
| - | ただし，外出（４／週）時は，電動車いすを使用しているため，自力で介助なしで行っている。 |
| **２** – **４** | 通常は介助なしで行っている。毎日朝食の際は，最初の数口は介護者が口まで運んでいる。 |
| - | 頻度から「１．介助されていない」を選択する。 |
| **２** – **７** | 一週間以上に渡り歯磨きなどの口腔のケアが行われておらず，歯ぐきが腫れている。不適切 |
| - | な状況にあると判断。上肢拘縮の状況から「３．全介助」を選択する。 |

特記事項が複数行にまたがる場合，項目番号の２行目以降が空欄であっても読み取り可能です。

② 関連する項目をまとめて記載する場合

|  |  |
| --- | --- |
| **２** – **10** | 普通の衣服の着脱は自力で行うことができないが，着脱しやすい上衣・ズボンを使用してお |
| **２** – **11** | り，自力で介助なしで行っているため，「１．介助されていない」を選択する。 |

　特記事項欄に中かっこを記入のうえ，特記事項を記入してください。

③ 同一群を２枚にまたいで記載する場合

１枚目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **３** – **２** | 週の何曜日にデイサービスがあるかは答えられなかったが，毎日の起床，就寝，食事等のおお | |
| - | まかな内容については答えることができたので「１．できる」を選択する。 | |
| **３** – **４** | 調査当日の昼食で何を食べたかまで答えることが出来たが，家族の話では，普段は物忘れが | |
| - | ひどく直前のことも覚えていないことがあるとのこと。頻度から，「２．できない」を選択 | |
| - | する。 | |
| ※　本用紙に収まらない場合は、適宜用紙を追加して下さい | | 1 ／　**2**　　ページ |

２枚目

|  |  |
| --- | --- |
| 調査項目 | 特記事項 |
| **３** – **６** | 調査当日の月日は答えることが出来たが，今の季節を答えることができないため「２．できな |
| - | い」を選択する。 |

* 前ページについて，最後の行まですべて埋めてある必要はありません。
* 認定調査項目に含まれていない認知症に関連する症状のうち，「幻視・幻聴」，「暴言・暴行」，　　　「不潔行為」，「異食行動」等については，関連する項目の特記事項に記入するか，認知症高齢者の日常生活自立度の特記事項に記入してください。
* 特記事項の記入内容をそのままイメージ画像として読み取りますので，枠内を有効に活用して　記入してください。

**【Ⅱ．読み取りにおいて望ましくない事例　】**

① 番号の記載がない場合

|  |  |
| --- | --- |
| – | 体を抱えられて車椅子に移乗し，押してもらう。「4.全介助」を選択する。 |
| – |  |

　項目番号がないと，どの調査項目に対しての特記事項か分かりません。項目番号は必ず記入して　　ください。

② 同一群の同一項目番号が２枚にまたがって記載されている場合

１枚目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **４** – **９** | 現在，入所中で，以前は毎日のように外に出ようとしていた。フロアーの外や階段，エレベー | |
| - | ターの前に観葉植物を置いたところ，現時点ではその行動がなくなったため「1．ない」を選 | |
| – | 択する。しかし観葉植物を撤去すれば行動が再発し，起こると考えられる。 | |
| **４** – **12** | 火を使わないように伝えているが，自分で調理できると思っており，ガスをつけっぱなしに | |
| ※　本用紙に収まらない場合は、適宜用紙を追加して下さい | | 1 ／　**2**　　ページ |

２枚目

|  |  |
| --- | --- |
| 調査項目 | 特記事項 |
| **４** – **12** | して鍋を焦がすことが月に２～３回程度みられるため「２．ときどきある」を選択する。 |
| - | 家族が気をつけているが，目を離したすきに火を使うことがある。 |

　特記事項の記入内容をそのままイメージ画像として読み取り，介護認定審査会の資料として使用されます。同一項目番号の特記事項をページをまたいで記入すると資料が読みにくいため，同じページ内に記入してください。

③ 群の順番どおりに記載されていない場合

|  |  |
| --- | --- |
| **７** – **２** | 物忘れはなく，理解力は保たれていることにより「自立」を選択する。 |
| **１** – **２** | 調査時体調が悪く，関節等の痛みがあるとのことで，調査対象者に実際に行ってもらえなかっ |
|  | たため，調査対象者と家族に，「関節の動く範囲の制限の有無の確認方法」に示す動作が行 |
| - | えるかどうか確認したところ，全てできるとのこと。「1.ない」を選択する。 |

　特記事項の記入内容をそのままイメージ画像として読み取り，介護認定審査会の資料として使用されます。記入もれ等により群の順番を前後して記入すると資料が読みにくいため，群の順番通りに記入してください。

* 関連する項目をまとめて記入する場合等により，同一群で項目番号のみ前後することは問題ありません。
* 記入もれ等に備えて，各群の間に１～２行空白を設けることは問題ありません。